

## 「パートナーシップ構築宣言」

当クリニック(もりもと内科クリニック)は、サプライチェーンの取引先の皆様や価値創造を図る事業者の皆様との連携・共存共栄を進めることで、新たなパートナーシップを構築するため、以下の項目に重点的に取り組むことを宣言します。

### 1. サプライチェーン全体の共存共栄と規模・系列等を超えた新たな連携

直接の取引先だけでなくサプライチェーンの深い層の取引先に働きかけることにより、サプライチェーン全体での付加価値向上に取り組むとともに、既存の取引関係や企業規模等を超えた連携により、取引先との共存共栄の構築を目指します。

#### (個別項目)

#### a. 企業間の連携(オープンイノベーション、M&A 等の事業承継支援、取引先のテレワーク導入支援 等)

医薬品卸各社(メディセオ、アルフレッサ、スズケン)及び調剤薬局(グッドプラン菊水町店)との定期的な意見交換を通じ、広域災害時における医薬品・医療材料の安定供給体制の維持に共同で取り組みます。具体的には、卸売業者及び調剤薬局の BCP 策定に必要な情報を提供し、災害協定に基づく医療提供の継続を最優先とする連携体制の構築に貢献します。これにより、サプライチェーン全体の強靱化を支援します。クリニック側が、災害協定に基づく情報共有体制に積極的に参画し、優先供給が必要な品目の選定や、平時における医薬品在庫の適正な管理を行うことで、卸売業者及び調剤薬局の物流負担を軽減します。

#### b. IT 実装支援(共通 EDI の構築、データの相互利用、IT 人材の育成支援、サイバーセキュリティ対策の助言・支援 等)

予防接種・発熱外来の Web 予約システムをホームページから利用可能とし、患者利便性の向上と業務効率化を実現しています。電子処方箋に対応し、調剤薬局とのデータ連携を推進しています。また、Ivry 社の電話システムを活用し、将来的なさらなる医療 DX 化を目指します。医療事務、システム保守等の委託先に対し、電子カルテ連携、診療報酬改定対応、及びレセプト請求に関わる医療情報システムの安全性確保に資するサイバーセキュリティ対策やデータ保護に関する知見の共有・助言を積極的に行います。特に機密性の高い医療データの取り扱いにおける安全基準を共有し、取引先におけるセキュリティ対策のレベル向上を支援します。

#### c. 専門人材マッチング

現時点では従業員は充足していますが、必要時には適切な専門人材の確保に努めます。最低賃金 1,350 円/時間以上での雇用を実施し、勤怠管理システムを運用することで、

労働環境の適正化と透明性の確保に取り組んでいます。医療事務や看護補助業務のアウトソーシング先に対し、継続的な専門人材の確保及び育成が可能となるよう、適正な契約価格での発注を通じて、その専門性の向上及び離職率の低減を支援します。人材の質が医療サービスの質に直結することを認識し、コストだけでなく専門性維持に貢献する取引を重視します。

**d. グリーン化の取組(脱・低炭素化技術の共同開発、省エネ診断に係る助言・支援、生産工程等の脱・低炭素化、グリーン調達等)**

リブワーク社のプリンター住宅を建設し、CO2 排出を削減する土を主原料とする環境に優しい住宅を別棟として採用します。クリニック裏には果樹園を造設し、地域の緑化と環境保全に貢献します。医療廃棄物処理業者や設備保守業者と連携し、院内のエネルギー消費の最適化及び、環境負荷の低い資材・サービスを優先的に調達するグリーン調達を推進します。特に、医療廃棄物の排出削減及び適正処理に関わる環境配慮型サービスの選定に積極的に取り組み、地域医療機関としての社会責任を果たします。

**e. 健康経営に関する取組(健康経営に係るノウハウの提供、健康増進施策の共同実施等)**

残業をほとんど発生させず、時間内に従業員が帰宅できる体制を構築しています。雇用契約、36 協定を締結し、医師国保からの健診に加え、クリニックでも年 1 回の胸部レントゲン撮影を実施し、結核などの感染症対策を行い市へ報告しています。感染予防のため、クリニック内にフィルター7 台を設置し、従業員の感染リスクを低減しています。医療事務・清掃等の委託事業者に対し、当クリニックが持つ健康情報に関する専門的なノウハウを提供します。具体的には、取引先の従業員に対する予防接種や健康診断受診の推奨を共同で実施するなど、取引先の福利厚生の上昇と健康増進施策を支援します。

**f. BCP/事業継続(取引先の災害時等の事業継続計画策定の助言等)**

当クリニックは、令和 7 年 10 月に事業継続力強化計画の認定を受けており、災害時には取引先と連携し継続医療を行うことを目指します。上記の感染対策に加え、災害時の対策を包括的に実施しており、取引先に対しても BCP 策定の助言や支援を積極的行います。

## **2. 「振興基準」の遵守**

発注方法の改善、対価の決定の方法の改善、代金の支払方法の改善、型等に係る取引条件の改善、知的財産の保護及び取引の適正化等を含む委託事業者と中小受託事業者との望ましい取引慣行(受託中小企業振興法に基づく「振興基準」)を遵守し、取引先とのパートナーシップ構築の妨げとなる取引慣行や商慣行の是正に積極的に取り組みます。

### **① 価格決定方法**

不合理な原価低減要請を行いません。取引対価の決定に当たっては、取引先と少なくとも年に1回以上の協議を行うとともに、取引先の適正な利益を含み、取引先における労働条件の改善が可能となるよう、十分に協議して決定します。その際、「労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針」に掲げられた行動を適切にとった上で決定します。また、原材料費やエネルギーコストの高騰があった場合には、適切なコスト増加分の全額転嫁を目指します。なお、取引対価の決定を含め契約に当たっては、契約条件の書面等による明示・交付を行います。

具体的には、経営トップ(院長)の判断として、委託先の労務費上昇分について、根拠資料の有無や申入れの巧拙にかかわらず協議のテーブルにつき、適切なコスト転嫁を受け入れる具体的な取組方針を策定し、取引先に対し書面をもって周知します。また、協議の経緯と結果を発注者・受注者の双方で記録・保管することを徹底します。

## **②型管理などのコスト負担**

当クリニックの事業特性上、「型」(金属、プラスチック等を素材とする製品の成形加工に用いられる金型、樹脂型、木型等の型または治具)を活用した取引は行っていません。したがって、この項目は適用対象外として除外します。

## **③支払条件**

取引先への支払いは、約束手形を使用せず、現金払い(振込)またはクレジットカード決済により行います。今後も現金化の迅速性を重視し、取引先の資金繰りに配慮した支払方法を継続します。

## **④知的財産・ノウハウ**

「知的財産取引に関するガイドライン」に掲げられている「基本的な考え方」や、「契約書ひな形」を踏まえて取引を行い、片務的な秘密保持契約の締結、取引上の立場を利用したノウハウの開示や知的財産権の無償譲渡などは求めません。特に医療情報システムやコンサルティング契約における委託先の知財権を尊重し、一方的または不当な条件を設けません。

## **⑤働き方改革等に伴うしわ寄せ**

取引先も働き方改革に対応できるよう、取引先に対して、適正なコスト負担を伴わない短納期発注や急な仕様変更を行いません。災害時等においては、取引先に取引上一方的な負担を押し付けないように、また、事業再開時等には、できる限り取引関係の継続等に配慮し無理な要求は行いません。

## **3. その他(任意記載)**

当クリニックが地域医療の維持のために行う医薬品卸・調剤薬局との BCP 連携強化の取り組みについて、関係するサプライチェーン全体へ積極的に情報発信し、安定的な医療提供体制の維持に努めます。

約束手形の利用を行わず、全ての取引先に対し、現金払い(振込)または電子記録債権による支払いを実施しています。

年 3～4 回、ダスキンによる専門清掃を実施し、自らの清掃活動に加えて専門業者による清潔な環境維持に取り組んでいます。また、年 1 回のエアコン清掃を実施し、院内環境の衛生管理を徹底しています。これらの取り組みを通じて、委託業者との良好なパートナーシップを構築し、患者様及び従業員にとって安全で快適な医療環境を提供します。

2026 年 1 月 1 日

受託中小企業振興法に基づく「振興基準」の内容を理解した上で宣言します。

もりもと内科クリニック

院長 森本太郎